

# 公開講座

2 / 28  
2026  
19:00 - 21:00 (土)

SAT.

- 18:50 - 入場開始  
19:00 - 講座「グリーンウェッジの歴史と現在」  
19:50 - 休憩  
20:00 - 田園調布のみどりを語ろう（質疑応答）  
20:40 - 交流会

もうひとつの〈田園都市〉モデル  
グリーンウェッジ・アーバニズム  
みどりをさしむまちづくりから  
田園調布のまちとみどりを考える

**会場** 田園調布せせらぎ館・第四集会室

田園調布せせらぎ公園内  
多摩川駅（東急多摩川線・東急東横線・東急目黒線）  
東京都大田区田園調布1丁目53-12

**入場** 無料

**定員** 20名

当日飛び入りも可能ですが座席に限りがございます。  
当日参加は田園調布の住民のご来場者が優先入場となります。  
できるだけご予約のうえでご参加ください。

**申込** 右下のQRコードからご予約ください

メールでもご予約可能です。  
masamichitamura@gmail.com  
事務局・田村将理（途草会・代表）まで

今からもう100年以上も昔となる大正7年、国分寺崖線の東端に、  
英國で生まれたばかりの〈田園都市〉の考えをいち早くとりいれた  
「公園のように明るく美しい」田園調布というまちが生まれました。

当初〈田園都市〉は「グリーンベルト」とともに提案されましたが  
世界中で拡大を続ける都市を巨大なみどりの輪で囲うことは難しく  
まちと地勢によりそいながら大小のみどりを的確に細かくさしこむ  
「グリーンウェッジ」という代案がすぐに論じられ、発展しました。  
この知恵は世界中で自然と調和したまちづくりを支えてきましたが  
その歴史は近年ようやく明らかにされた「古くて新しい」伝統です。

武蔵野の自然と私邸の庭のみどりがあちこちでつながる田園調布は  
日本が育んだグリーンウェッジ型〈田園都市〉のみごとな姿として  
一世紀にわたりみどり豊かな暮らしの景色を守りつづけてきました。  
世界に誇るべき身近なまちとみどりを再発見し、語り合いましょう。

聞き手

佐藤留美さん

NPO法人 Green Connection Tokyo（代表理事）  
NPO法人 NPO birth（事務局）  
ランドスケープ経営研究会「LBA」（幹事）

ファビアノ・L・D・オリヴェイラさん

ミラノ工科大学准教授  
グリーンウェッジ・アーバニズム研究者

※イタリアからオンラインでお話しします  
※通訳がります（英語→日本語）



共催：途草会 michikusakai.com

この公開講座は公益財団法人東急財団・多摩川の美しい未来づくり助成2025年採択研究『見えない川』にみどりをさしむ流域治水－〈グリーンウェッジ〉を〈ブルーリンク〉で結ぶ緑と水のネックレスを軸とした小規模・分散型緑地からの流域治水への市民参加モデルの一環で開催されます。

green-connection.tokyo

